

適用規格						
定 格	使用温度範囲	-55℃～ +105℃（注1）	保存温度範囲		-10℃～ +60℃（注3）	
	使用湿度範囲	20% ～ 80%（注2）	保存湿度範囲		40% ～ 70%（注3）	
	適合コネクタ	DF51A-20DP-2DSA/DS(##) DF51-20DEP-2C(##)	電 流		AWG 22～24：2.0A AWG 26：1.5A AWG 28：1.0A AWG 30：0.5A	
	適合端子	DF11-22SC(A)/SCF(A) DF11-2428SC(A)/SCF(A) DF11-30SC(A)/SCF(A)				
	電 圧	AC/DC 250V	UL・C-UL規格	電 圧 電 流	AC/DC 30 V AWG 22：2.0A AWG 24～28：1.0A AWG 30：0.5A	
性 能						
	項 目	試 験 方 法	規 格		QT	AT
構 造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。		○	○
	表示	目視にて確認する。			○	○
電 氣 的 性 能	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ以上		○	—
	耐電圧	AC 650 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	—
機 械 的 性 能	繰り返し動作 (Snメッキ)	30 回の抜き差しを行う。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。△		○	—
	繰り返し動作 (Auメッキ)	50 回の抜き差しを行う。			○	—
	結合力及び離脱力 (Snメッキ)	適合コネクタで測定する。	結合力 88.2N以下 離脱力 5.2N以上		○	—
	結合力及び離脱力 (Auメッキ)	適合コネクタで測定する。	結合力 58.5N以下 離脱力 5.0N以上		○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 10サイクル試験する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。△		○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 軸両方向 各 3 回試験する。			○	—
	コンタクトの 引抜き力	ハウジングを固定し電線を引張った際の 強度を測定する。	11.8N以上		○	—
	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。 （室温に1～2時間放置後測定）	①絶縁抵抗：500 MΩ以上 △ ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
環 境 的 性 能	温度サイクル	温度 -55 → 105℃ 時間 30 →30分 を 5 サイクル 試験する。 槽の移し変えは時間は2～3分 （室温に1～2時間放置後測定）	①絶縁抵抗：1000 MΩ以上 △ ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	耐熱性	温度 +105 ± 2℃中に96時間放置する。			○	—
	耐寒性	温度 -55 ± 3℃中に96時間放置する。			○	—
	備考					
(注1) 通電時の温度上昇を含む。						
(注2) 結露のないこと。						
(注3) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。						
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
△	5	DIS-H-00004500	TS. MIYAKI	SZ. ONO	20181212	
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512（適応規格JIS C 5402）を適用している。				承認	HS. OKAWA	20160707
				検 図	YN. TAKASHITA	20160707
				担 当	TT. OHSAKO	20160707
				製 図	TT. OHSAKO	20160707
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC-362062-00-00			
HRS	製 品 規 格 表		製品名	DF51-20DS-2C		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL543-5038-0-00	△	1/1